

令和5年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-------|------------------------|----|------|--------|-------|
| 学校名 | 広島県立福山商業高等学校 | 校長 | 土屋 研 | 生徒指導主事 | 佐藤 瑞江 |
| 取組事例名 | 『福笑生徒スローガンの作成及び取組について』 | | | | |

1 取組の設定

| 取組を実施する意図及びねらい | 取組を通して育てたい児童生徒像 |
|-------------------|--|
| ・ 自立、挑戦、貢献する人材の育成 | 1. 挑戦する生徒 2. 人の良さを引き出し合う生徒 3. 経験から学ぶ生徒 |



2 展開

| 取組の具体的内容 | 取組の創意工夫 |
|--|---|
| 2月中旬～ 学校、生徒の現状と今後の展望に関するアンケート作成及びクラス周知 | 生徒にめあてをもたせるために ・ 横断幕の作成 ・ 校内の掲示できる箇所に掲示する ・ 文化祭、体育祭のテーマに福笑生徒スローガンを取り入れたテーマ設定 |
| 2/20～3/1 生徒にアンケートの実施 | |
| 3/6～ アンケートの集約、福笑生徒スローガンの決定、職員への報告 | 生徒の意欲を高めるために ・ 企業の方や他校の生徒、教員と関わる場面を増やす ・ 生徒主導の取組を増やす |
| 3/20 全校生徒への福笑生徒スローガンの周知（終業式） | |
| 6/18 第1回福笑生徒スローガン到達度アンケート実施（文化祭終了後） | |
| 10/26 第2回福笑生徒スローガン到達度アンケート実施（体育祭終了後） | 生徒の頑張りを認め、価値付けるために ・ 生徒の活動を学校ホームページへ掲載 ・ 全校集会で周知した |
| 3月下旬 福笑生徒スローガン到達度アンケートの実施 生徒会執行部にて、福笑生徒スローガンの達成度の把握、来年度に向けた取組計画 | |
| 4月以降 福笑生徒スローガンの運用開始 | |



3 成果と課題

- 普段の授業だけでなく、課外活動にも積極的に参加する生徒が増え、多くの生徒がそれぞれができる場面で挑戦する姿が見受けられた。
- “福笑生徒スローガン”の校内での認知度がまだまだ低いこと。
- 到達度ルーブリックが明確でないため、数値化が出来ず、生徒の到達度を図れなかったこと。